

各医療機関の長様

広島市長 松井 一 實
(健康福祉局保健部健康推進課)

令和8年度における定期接種の変更点について(第1報)

平素より本市の保健衛生行政に御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

この度、国の審議会において、令和8年4月以降の定期接種について、「RSウイルス母子免疫ワクチンを追加すること」、「2価HPVワクチン及び4価HPVワクチンを除外すること」及び「20価高齢者肺炎球菌ワクチンを追加し、23価高齢者肺炎球菌ワクチンを除外すること」が了承されました。

つきましては、正式な通知等が未発出の状況ですが、取り急ぎ、本件についてお知らせします。

なお、国から通知等が発出された際は、改めて、お知らせします。

記

1 RSウイルス母子免疫ワクチンについて **A類**

(1) 開始時期

令和8年4月1日

(2) 対象者

妊娠28週から37週に至るまでの者

(3) 接種方法

定期接種として下表のとおりワクチンを使用する。

区 分	ワクチン
製品名(メーカー名)	アブリスボ(ファイザー社)
接 種 回 数 等	妊娠ごとに1回(筋肉内注射)

(4) その他

現在、薬事承認されている抗体製剤「バイフォータス」(サノフィ社)については、国審議会において定期接種化に向けた審議が継続中。

2 HPVワクチンについて **A類**

現在、定期接種用のHPVワクチンは3種類(2価、4価及び9価)が定められていますが、キャッチアップ接種の経過措置が来年3月末で終了することや、HPVワクチンの接種状況などを踏まえ、令和8年4月1日以降、次のとおり、取扱いが変更されます。

【定期接種用のHPVワクチン(製品名)】

令和8年3月31日まで
● 2価HPVワクチン(サーバリックス)
● 4価HPVワクチン(ガーダシル)
● 9価HPVワクチン(シルガード9)



令和8年4月1日以降
● 9価HPVワクチン(シルガード9)のみ ※令和8年3月31日までに2価HPVワクチン又は4価HPVワクチンで接種開始している場合も含む。

【注意事項】

- 令和8年4月1日以降、定期接種として2価及び4価は使用できなくなります。今後、新たに2価又は4価で接種を開始する場合や、既に11月以降に2価、12月以降に4価で開始している場合は、接種間隔の規定上、令和8年3月末までに全ての接種を同一ワクチン(2価又は4価)で完了することができません。
- 原則、同じ種類のワクチンで接種を完了することとしていますが、2価又は4価を用いて規定の接種回数の一部を完了した者が、9価により残りの回数の接種を行う交互接種については、適切な情報提供に基づき、接種医と被接種者(保護者)がよく相談したうえで実施して差し支えありません。

裏面に続く

3 高齢者肺炎球菌ワクチンについて B類

(1) 変更時期

現時点で未定（令和8年4月1日からの可能性あり）

(2) 変更されるワクチン

定期接種として下表のとおりワクチンを変更する。

	変更前
製 品 名 (メーカー名)	ニューモバックスNP (MSD社)
接種回数等	0.5mLを1回 (筋肉内又は皮下注射)



変更後
プレバナー20 (ファイザー社)
0.5mLを1回 (筋肉内注射)

(3) 今後の対応について

国から詳細な情報等があり次第、お知らせします。

健康推進課保健予防係 担 当：杉野（A類疾病） 佐藤（B類疾病） TEL：082-504-2882
--